



## 2026年3月期第3四半期 決算説明資料

---

2026.02.03

TIS株式会社

© 2026 TIS Inc.

- TISの河村でございます。よろしくお願いいたします。
- それでは、本日15:30に発表しました、2026年3月期第3四半期の決算の内容についてご説明いたします。

### 2026年3月期第3四半期(累計) 業績概要

- ・前年同期比増収増益。
- ・営業利益率は安定的に12%台を維持。
- ・受注高は、緩やかに前年同期比増加。受注残高は前年同期比で減少。

### 2026年3月期 業績見通し

- ・概ね上期決算で引き上げた通期計画に沿って推移。  
通期計画の修正なし。

- ・はじめに、2ページをご覧ください。
- ・今回の決算のハイライトです。
- ・まず、2026年3月期第3四半期の業績については、前年同期比増収増益での着地となりました。
- ・営業利益率は12%台と、安定的に高い収益性を維持しています。
- ・受注高は前年同期比で緩やかに増加した一方で、受注残高は前年同期を下回りました。
- ・次に、2026年3月期の業績見通しについては、概ね上期に上方修正した計画に沿って推移しており、通期計画の修正はありません。
- ・
- ・以上が今回の主なハイライトになります。
- ・それでは、今申し上げた内容のご説明に入っていきたいと思えます。

- 1 2026年3月期第3四半期(累計) 業績概要
- 2 2026年3月期 業績見通し
- 3 参考資料

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、TISインテックグループ(TISおよびグループ会社)が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・各四半期会計期間(3カ月)の数値は累計期間の差引により算出しています。

・各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。(P.19、20除く)

(説明省略)



- 1 2026年3月期第3四半期(累計) 業績概要
- 2 2026年3月期 業績見通し
- 3 参考資料

(説明省略)

## 2026年3月期第3四半期(累計) 業績ハイライト(前年同期比)

- 顧客のデジタル変革をはじめとするIT投資需要への的確な対応やサービス提供の推進による事業拡大等が牽引し、増収増益。

(百万円)	2025年3月期 第3四半期 (累計)	2026年3月期 第3四半期 (累計)	前年同期比	
売上高	416,561	436,251	+19,690	(+4.7%)
営業利益	48,884	54,803	+5,918	(+12.1%)
営業利益率	11.7%	12.6%	+0.9P	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	34,474	38,196	+3,722	(+10.8%)
四半期純利益率	8.3%	8.8%	+0.5P	-

・営業外収益: 2,296百万円(前年同期比 ▲180百万円)  
→受取配当金 952百万円  
為替差益 483百万円 等

・特別利益: 3,944百万円(前年同期比 ▲1,843百万円)  
→投資有価証券売却益 3,202百万円 等

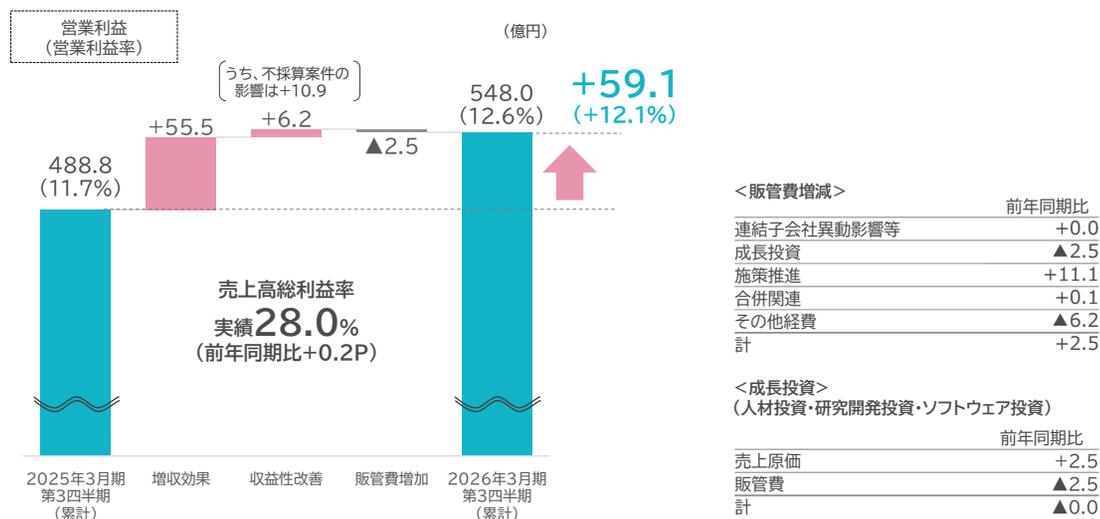
・営業外費用: 1,392百万円(前年同期比 +614百万円)  
→支払利息 421百万円  
持分法による投資損失 358百万円 等

・特別損失: 2,696百万円(前年同期比 ▲1,211百万円)  
→減損損失 1,393百万円  
契約損失 597百万円 等

- それでは、5ページをご覧ください。2026年3月期第3四半期累計の業績概要です。
- 引き続き良好な事業環境を背景に事業拡大を進め、増収増益を実現することができました。
- 売上高は前年同期比4.7%増の4,362億円。
- 営業利益は前年同期比12.1%増の548億円となり、営業利益率は0.9ポイント上昇して12.6%となりました。
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比10.8%増の381億円となりました。

## 2026年3月期第3四半期(累計) 営業利益要因別増減分析(前年同期比)

- 人材投資を含めた継続的な成長投資の中でも、増収に伴う増益や不採算案件の減少等により営業増益を達成。売上高総利益率は28.0%に向上。

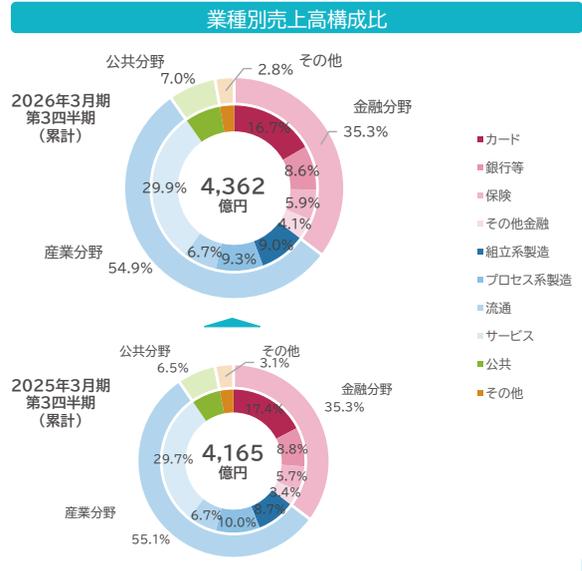
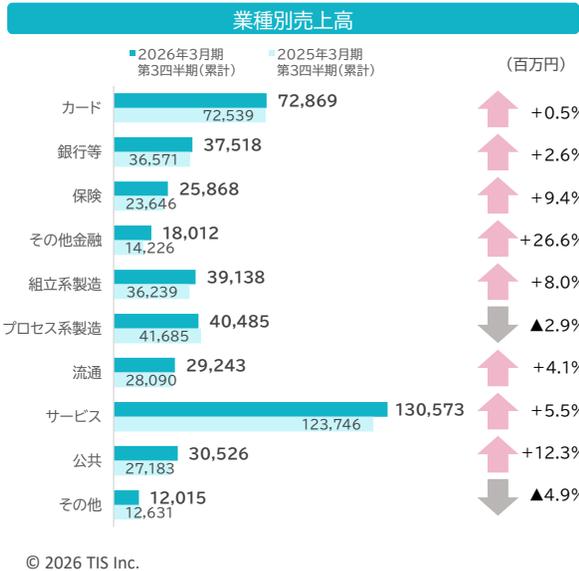


© 2026 TIS Inc.

- 6ページは営業利益の要因別増減です。
- 人材投資を含む成長投資を継続する中でも、増収に伴う増益や不採算案件の減少等により、営業増益で着地することができました。
- 売上高総利益率は、前年同期比で0.2ポイント上昇し、28.0%となりました。
- なお、不採算案件は第3四半期累計では10億円、第3四半期の3か月で6.5億円で、主に「広域ITソリューション」で発生しました。
- 通期想定と同水準となったことは課題であると認識しておりますので、これ以上積み上がらないよう、あらためて抑制に注力してまいります。

# 2026年3月期第3四半期(累計) 顧客業種別売上高

- 金融系はその他金融(リース)を中心に好調。産業系はサービス、組立系製造が牽引。公共も力強く伸長。



- 7ページは顧客業種別売上高の状況です。
- 金融系は、リース業の顧客向けのモダナイゼーション案件が寄与した「その他金融」を中心に好調に推移しました。
- 産業系は「サービス」および「組立系製造」が牽引しました。
- また、「公共」も力強い伸びを示しました。

## 2026年3月期第3四半期(累計) 主要セグメント別損益状況(前年同期比)

(百万円)		2025年3月期 第3四半期 (累計)	2026年3月期 第3四半期 (累計)	前年同期比		概況
オフリング サービス	売上高	106,605	116,244	+9,639	(+9.0%)	税理士事務所向けシステム等の更新サイクルに伴う需要が一巡したことや、決済分野における先行投資増があるものの決済分野、エンタープライズ系等での案件獲得や不採算案件の抑制により増収増益。海外も寄与。
	営業利益	7,398	7,818	+419	(+5.7%)	
	営業利益率	6.9%	6.7%	▲0.2P	-	
BPM	売上高	31,522	32,716	+1,193	(+3.8%)	DX事業を始めとする案件獲得や継続的なコストコントロールにより増収増益。
	営業利益	3,763	4,633	+869	(+23.1%)	
	営業利益率	11.9%	14.2%	+2.3P	-	
金融IT	売上高	74,602	73,340	▲1,262	(▲1.7%)	前期からの大型開発案件のピークアウト影響に加えて、一部顧客の運用業務の終了等があった一方で、モダナイゼーション関連等の高付加価値ビジネスの推進により減収増益。
	営業利益	9,112	9,593	+480	(+5.3%)	
	営業利益率	12.2%	13.1%	+0.9P	-	
産業IT	売上高	93,520	97,851	+4,331	(+4.6%)	サービス・製造・流通等の幅広い業種におけるIT投資拡大により増収増益。
	営業利益	14,127	16,627	+2,500	(+17.7%)	
	営業利益率	15.1%	17.0%	+1.9P	-	
広域IT ソリューション	売上高	127,000	133,560	+6,559	(+5.2%)	公共系案件にて状況変化に伴う収益性悪化があったものの、医療系およびその他産業系顧客の幅広いIT投資需要の拡大や前期に発生した一過性費用の減少等により増収増益。
	営業利益	13,998	15,578	+1,580	(+11.3%)	
	営業利益率	11.0%	11.7%	+0.7P	-	

© 2026 TIS Inc.

8

- ・ 8ページは主要なセグメント別の状況です。
- ・ 「オフリングサービス」は、税理士事務所向けシステム等の更新需要が一巡した影響や、決済分野での先行投資の増加がある中でも、決済分野やエンタープライズ系等で着実に案件を獲得し、また、不採算案件の抑制も進められたことで増収増益となりました。海外事業も増収に寄与しています。
- ・ 「BPM」は、DX事業を中心に案件が獲得できたことや、継続的に実施しているコストコントロールが奏功して増収増益となりました。
- ・ 「金融IT」は、前期から継続する大型開発案件のピークアウトや、一部顧客の運用業務の終了等の影響で、減収となりましたが、モダナイゼーション関連等の高付加価値ビジネスを推進したことで増益となりました。
- ・ 「産業IT」は、サービス・製造・流通等の幅広い業種でのIT投資拡大により増収増益となりました。
- ・ 「広域ITソリューション」は、公共系案件における状況変化に伴う収益性悪化があったものの、医療系、その他産業系など、幅広い顧客のIT投資需要の拡大や前期に発生した一過性費用の減少等により増収増益となりました。

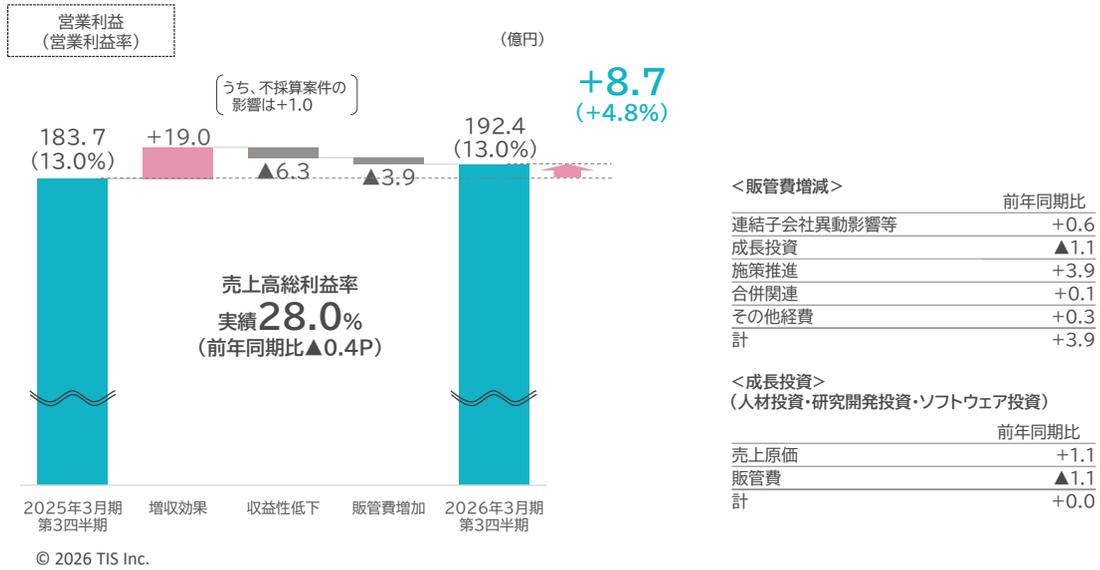
(参考) 2026年3月期第3四半期(10-12月)  
業績ハイライト・主要セグメント別損益

(百万円)	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	前年同期比	
売上高	141,002	147,725	+6,723	(+4.8%)
営業利益	18,374	19,249	+874	(+4.8%)
営業利益率	13.0%	13.0%	▲0.0P	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,633	14,469	+836	(+6.1%)
四半期純利益率	9.7%	9.8%	+0.1P	-
主要セグメント別				
オフラインサービス	売上高	36,200	40,174	+3,973 (+11.0%)
	営業利益	2,929	3,150	+220 (+7.5%)
	営業利益率	8.1%	7.8%	▲0.3P
BPM	売上高	10,673	10,991	+317 (+3.0%)
	営業利益	1,446	1,666	+220 (+15.2%)
	営業利益率	13.5%	15.2%	+1.7P
金融IT	売上高	24,560	25,261	+700 (+2.9%)
	営業利益	3,022	3,431	+408 (+13.5%)
	営業利益率	12.3%	13.6%	+1.3P
産業IT	売上高	32,224	32,699	+474 (+1.5%)
	営業利益	5,105	6,003	+898 (+17.6%)
	営業利益率	15.8%	18.4%	+2.6P
広域ITソリューション	売上高	43,052	44,134	+1,082 (+2.5%)
	営業利益	5,697	4,783	▲914 (▲16.0%)
	営業利益率	13.2%	10.8%	▲2.4P

© 2026 TIS Inc.

- ・ 9ページ、10ページは、第3四半期の3か月間の業績を示したものです。
- ・ まず、9ページです。
- ・ 全体としては前年同期比増収増益で、営業利益率は13.0%と高い水準を維持しています。
- ・ 前ページでのご説明と概ね同様の傾向ですが、この3か月の状況を補足させていただきます。
- ・ 金融ITについては、しばらく減収トレンドが続いていましたが、モダナイゼーション等による新規顧客獲得の成果が業績に寄与し、この第3四半期で増収に転じました。これに伴い、営業利益率も上昇しています。
- ・ 産業ITは増収率は低いものの、サービス・製造等の幅広い顧客の案件獲得によるミックスの改善や案件の効率的な推進等により営業利益率が大きく引き上がりました。
- ・ 広域ITソリューションの減益は、先ほどの説明のとおり、公共系案件における状況変化に伴う収益性悪化の影響によるものです。

(参考) 2026年3月期第3四半期(10-12月)  
営業利益要因別増減分析(前年同期比)



- ・10ページは3か月の営業利益の増減分析です。
- ・営業増益の一方で、売上高総利益率が前年同期比0.4ポイント低下し、28.0%となりました。
- ・これは主にオフリングサービスと広域ITソリューションの収益性低下によるもので、その他のセグメントにおいては引き続き収益性を引き上げることができています。

## 2026年3月期第3四半期(累計) 受注状況(当期受注高)

- 当期受注高は前年同期比で安定的に増加。
- オファリングサービス、BPM、金融ITは開発が伸長の一方、産業ITでは前年同期を下回る。

(百万円)		2025年3月期 第3四半期 (累計)	2026年3月期 第3四半期 (累計)	前年同期比	
当期受注高		382,874	391,103	+8,228	(+2.1%)
うちソフトウェア開発		208,133	214,007	+5,874	(+2.8%)
主要セグメント別					
オファリング サービス	当期受注高	86,216	90,039	+3,822	(+4.4%)
	うちソフトウェア開発	37,476	41,848	+4,372	(+11.7%)
BPM	当期受注高	29,771	31,405	+1,633	(+5.5%)
	うちソフトウェア開発	9,428	10,514	+1,086	(+11.5%)
金融IT	当期受注高	59,702	61,172	+1,470	(+2.5%)
	うちソフトウェア開発	34,243	37,800	+3,556	(+10.4%)
産業IT	当期受注高	90,750	88,162	▲2,587	(▲2.9%)
	うちソフトウェア開発	65,112	61,626	▲3,485	(▲5.4%)
広域IT ソリューション	当期受注高	116,433	120,323	+3,890	(+3.3%)
	うちソフトウェア開発	61,873	62,217	+344	(+0.6%)

- 11ページからは受注状況についてのご説明です。
- まず、11ページが受注高の状況です。当期受注高は前年同期比2.1%増の3,911億円となりました。
- 全体としては安定的に増加しているものの、直近3か月ではこれまでの傾向から変化が見られたため、次のページでご説明いたします。

(参考) 2026年3月期第3四半期(10-12月)  
受注状況

(百万円)		2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	前年同期比	
当期受注高		101,633	96,833	▲4,800	(▲4.7%)
うちソフトウェア開発		70,174	64,312	▲5,861	(▲8.4%)
主要セグメント別					
オフラインサービス	当期受注高	20,906	22,394	+1,487	(+7.1%)
	うちソフトウェア開発	12,262	12,447	+185	(+1.5%)
BPM	当期受注高	9,935	10,378	+442	(+4.5%)
	うちソフトウェア開発	3,184	3,487	+302	(+9.5%)
金融IT	当期受注高	13,716	12,645	▲1,070	(▲7.8%)
	うちソフトウェア開発	12,775	11,705	▲1,069	(▲8.4%)
産業IT	当期受注高	28,234	23,341	▲4,893	(▲17.3%)
	うちソフトウェア開発	23,377	19,465	▲3,912	(▲16.7%)
広域ITソリューション	当期受注高	28,839	28,073	▲765	(▲2.7%)
	うちソフトウェア開発	18,574	17,207	▲1,367	(▲7.4%)

- 12ページは第3四半期の3か月間の受注状況です。
- 直近3か月の受注高は開発が減少した影響で全体としても前年同期比減少となりました。
- ここでは、この主な要因となっている「金融IT」「産業IT」「広域ITソリューション」の状況についてご説明します。
- まず、「金融IT」はモダナイゼーション等の新規案件は獲得しているものの既存顧客の受注の波をカバーできず減少しました。
- 「産業IT」は、主に前期に受注した複数のモダナイゼーション案件等の反動が影響しています。また、「広域ITソリューション」は、行政、医療関連等の案件の減少によるものです。
- 第3四半期では受注高が落ち込みましたが、手元のパイプラインは十分確保できていますので、今後はこれらを確実に受注として積み上げていきたいと考えています。

## 2026年3月期第3四半期(累計) 受注状況(期末受注残高)

- 金融IT、産業ITにおいて開発が減少、広域ITは販売の減少等があり、全体としては前年同期比減少。

(百万円)		2025年3月期 第3四半期末	2026年3月期 第3四半期末	前年同期比	
期末受注残高		157,175	154,473	▲2,701	(▲1.7%)
うちソフトウェア開発		97,612	96,192	▲1,419	(▲1.5%)
主要セグメント別					
オファリング サービス	期末受注残高	32,981	33,865	+883	(+2.7%)
	うちソフトウェア開発	16,263	17,774	+1,510	(+9.3%)
BPM	期末受注残高	7,362	7,612	+249	(+3.4%)
	うちソフトウェア開発	7,116	7,309	+192	(+2.7%)
金融IT	期末受注残高	32,041	29,931	▲2,110	(▲6.6%)
	うちソフトウェア開発	20,810	19,075	▲1,734	(▲8.3%)
産業IT	期末受注残高	34,640	33,794	▲846	(▲2.4%)
	うちソフトウェア開発	24,654	23,058	▲1,595	(▲6.5%)
広域IT ソリューション	期末受注残高	50,148	49,270	▲877	(▲1.8%)
	うちソフトウェア開発	28,767	28,973	+206	(+0.7%)

- 続きまして、13ページです。
- 受注残高は、前年同期比1.7%減の1,544億円となりました。
- 「金融IT」、「産業IT」では開発が減少していますが、既存顧客の開発案件が順調に進捗した一方、新規案件獲得が想定よりも伸びなかったことによるものです。
- 「オファリングサービス」、「広域ITソリューション」については、開発以外が減少していますが、「オファリングサービス」は海外事業の減少、「広域ITソリューション」は自治体関連や医療系での販売の反動によるものです。



- 1 2026年3月期第3四半期(累計) 業績概要
- 2 2026年3月期 業績見通し
- 3 参考資料

- 続きまして、2026年3月期の通期業績見通しについてご説明いたします。

## 2026年3月期 業績予想ハイライト

2025年10月31日発表の  
計画値より変更なし



- 人材投資をはじめとする成長投資を強化する中、事業拡大により増収営業増益の計画。合併関連費用も織り込み済み。
- 当期純利益は、主に特別損益(純額)の縮小を反映したものの。

(百万円)	2025年3月期 実績	2026年3月期 修正計画	前期比	
売上高	571,687	588,000	+16,312	(+2.9%)
営業利益	69,047	75,000	+5,952	(+8.6%)
営業利益率	12.1%	12.8%	+0.7P	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	50,012	50,000	▲12	(▲0.0%)
当期純利益率	8.7%	8.5%	▲0.2P	-
1株当たり当期純利益(円)	215.00	220.70	+5.70	(+2.7%)
ROE	15.3%	14.8%	▲0.5P	-

© 2026 TIS Inc.

\*2026年3月期計画のROEは、試算値。

15

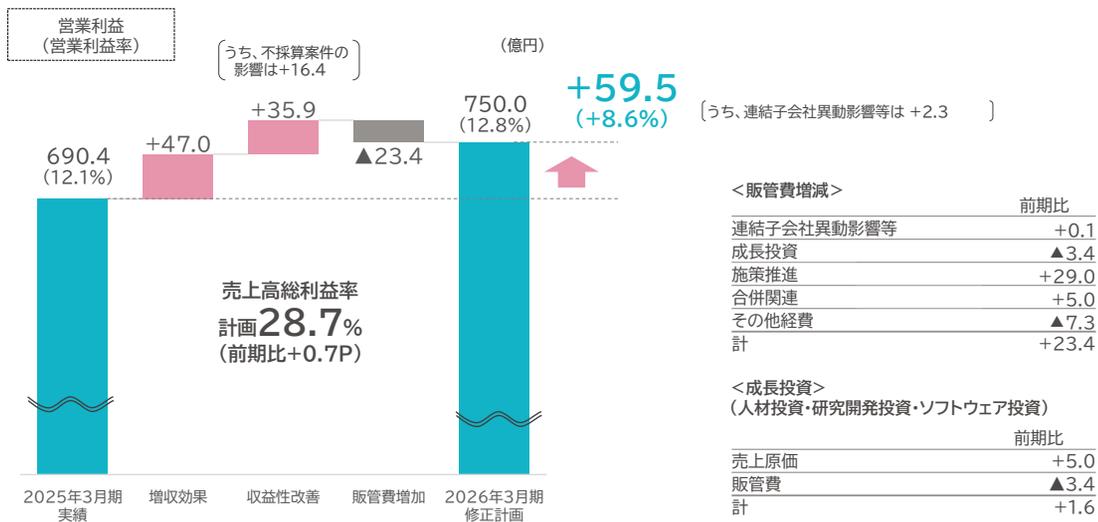
- 15ページをご覧ください。2026年3月期の通期業績見通しです。
- 2026年3月期の通期業績予想については、第3四半期までの業績進捗が概ね通期計画に沿っていることを踏まえ、2025年10月31日に見直した計画から変更はありません。
- 売上高は前期比2.9%増の5,880億円、営業利益は合併関連費用約5億円を織り込んだうえで前期比8.6%増の750億円の増収増益の計画です。
- 引き続き、受注の積み上げや不採算案件の抑制等を通じて、通期計画の達成確度をより確かなものにしてまいります。
- 最後に、本日発表の適時開示も含めてトピックスを2点簡単にご説明します。
- まず、自己株式の取得終了と消却についてです。
- すでにご案内のとおり、約420億円の自己株式の取得は2025年12月に完了しております。今回、そのうち、資本構成の適正化を目的とした350億円相当、3%程度の自己株式について、当初予定どおり消却することを決定しました。なお、消却予定日は2026年2月27日です。
- 次に、2026年7月1日の合併に向けた準備状況についてです。
- 昨日、ニュースリリースで4月1日付の人事異動および機構改革について発表しておりますが、新会社としてのありたい姿の実現に向けて、準備は順調に進んでおります。引き続きご期待いただければと存じます。
- 以上で、説明を終了いたします。

# 2026年3月期 営業利益要因別増減分析(予想)

2025年10月31日発表の  
計画値より変更なし



- 人材投資を含めた継続的な成長投資の中でも、高付加価値ビジネスの提供や生産性向上施策の推進等により、営業増益を見込む。



© 2026 TIS Inc.

(説明省略)

## 2026年3月期 主要セグメント別損益状況(予想)

2025年10月31日発表の  
計画値より変更なし



(百万円)	2025年3月期 実績	2026年3月期 修正計画	前期比		概況
オファリング サービス	売上高	145,515	153,500	+7,984 (+5.5%)	主に決済分野での先行投資強化や税理士事務所向けのシステム更新サイクルに伴う需要の一巡の影響等があるものの、決済、エンタープライズ、基盤系を中心とした需要を取り込み増収増益。海外事業は構造転換等により収益性向上を図る。
	営業利益	9,937	10,250	+312 (+3.1%)	
	営業利益率	6.8%	6.7%	▲0.1P -	
BPM	売上高	42,646	44,000	+1,353 (+3.2%)	注力領域と位置付けるDX事業及びBPM事業の伸長等により増収増益。
	営業利益	5,326	6,200	+873 (+16.4%)	
	営業利益率	12.5%	14.1%	+1.6P -	
金融IT	売上高	100,252	99,000	▲1,252 (▲1.2%)	大型開発案件のピークアウト影響や一部運用業務終了等の影響があるものの、モダナイゼーションを含めた顧客深耕による収益改善により減収増益。
	営業利益	12,321	12,550	+228 (+1.9%)	
	営業利益率	12.3%	12.7%	+0.4P -	
産業IT	売上高	128,120	132,500	+4,379 (+3.4%)	製造業やサービスを中心とした既存顧客の深耕やERP関連のIT投資需要の取り込みにより増収増益。
	営業利益	19,330	21,900	+2,569 (+13.3%)	
	営業利益率	15.1%	16.5%	+1.4P -	
広域IT ソリューション	売上高	177,425	182,000	+4,574 (+2.6%)	産業系販売案件の反動があるものの、引き続き堅調な医療系やネットワーク関連のIT投資需要を取り込み増収増益。
	営業利益	21,576	23,750	+2,173 (+10.1%)	
	営業利益率	12.2%	13.0%	+0.8P -	

© 2026 TIS Inc.

17

(説明省略)

1 2026年3月期第3四半期(累計) 業績概要

2 2026年3月期 業績見通し



3 参考資料

(説明省略)

## 2026年3月期第3四半期(累計) 主要セグメント別売上高(事業別) ※外部顧客向け

(百万円)	2025年3月期 第3四半期(累計)	2026年3月期 第3四半期(累計)	前年同期比	
オフラインサービス	96,380	105,349	+8,969	(+9.3%)
ソフトウェア開発	37,604	42,433	+4,829	(+12.8%)
運用・クラウドサービス	31,309	33,722	+2,413	(+7.7%)
製品・ソフトウェア販売	27,467	29,192	+1,725	(+6.3%)
BPM	29,952	31,736	+1,784	(+6.0%)
ソフトウェア開発	9,571	10,730	+1,159	(+12.1%)
運用・クラウドサービス	19,248	19,884	+635	(+3.3%)
製品・ソフトウェア販売	1,132	1,121	▲11	(▲1.0%)
金融IT	73,614	72,063	▲1,551	(▲2.1%)
ソフトウェア開発	38,172	40,158	+1,985	(+5.2%)
運用・クラウドサービス	31,705	28,732	▲2,972	(▲9.4%)
製品・ソフトウェア販売	3,736	3,172	▲563	(▲15.1%)
産業IT	93,118	97,401	+4,282	(+4.6%)
ソフトウェア開発	63,523	67,994	+4,471	(+7.0%)
運用・クラウドサービス	18,439	19,065	+625	(+3.4%)
製品・ソフトウェア販売	11,155	10,341	▲814	(▲7.3%)
広域ITソリューション	121,573	127,889	+6,315	(+5.2%)
ソフトウェア開発	63,274	64,466	+1,192	(+1.9%)
運用・クラウドサービス	43,536	46,061	+2,524	(+5.8%)
製品・ソフトウェア販売	14,762	17,361	+2,598	(+17.6%)
その他	1,920	1,811	▲109	(▲5.7%)
合計	416,561	436,251	+19,690	(+4.7%)
ソフトウェア開発	212,145	225,784	+13,638	(+6.4%)
運用・クラウドサービス	144,240	147,466	+3,226	(+2.2%)
製品・ソフトウェア販売	58,254	61,189	+2,935	(+5.0%)
その他	1,920	1,811	▲109	(▲5.7%)

© 2026 TIS Inc.

(説明省略)

2026年3月期第3四半期(10-12月)  
 主要セグメント別売上高(事業別) ※外部顧客向け

(百万円)	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	前年同期比	
オフラインサービス	32,187	36,406	+4,219	(+13.1%)
ソフトウェア開発	12,778	14,476	+1,698	(+13.3%)
運用・クラウドサービス	10,209	11,730	+1,520	(+14.9%)
製品・ソフトウェア販売	9,199	10,199	+999	(+10.9%)
BPM	10,122	10,685	+563	(+5.6%)
ソフトウェア開発	3,275	3,719	+444	(+13.6%)
運用・クラウドサービス	6,482	6,577	+95	(+1.5%)
製品・ソフトウェア販売	365	387	+22	(+6.2%)
金融IT	24,239	24,734	+494	(+2.0%)
ソフトウェア開発	12,685	13,696	+1,010	(+8.0%)
運用・クラウドサービス	10,449	9,910	▲539	(▲5.2%)
製品・ソフトウェア販売	1,104	1,127	+22	(+2.1%)
産業IT	32,122	32,579	+456	(+1.4%)
ソフトウェア開発	21,944	22,915	+970	(+4.4%)
運用・クラウドサービス	6,159	6,456	+296	(+4.8%)
製品・ソフトウェア販売	4,018	3,207	▲810	(▲20.2%)
広域ITソリューション	41,578	42,644	+1,066	(+2.6%)
ソフトウェア開発	21,895	21,142	▲752	(▲3.4%)
運用・クラウドサービス	14,633	15,421	+788	(+5.4%)
製品・ソフトウェア販売	5,049	6,080	+1,030	(+20.4%)
その他	752	675	▲76	(▲10.2%)
合計	141,002	147,725	+6,723	(+4.8%)
ソフトウェア開発	72,579	75,950	+3,371	(+4.6%)
運用・クラウドサービス	47,934	50,097	+2,163	(+4.5%)
製品・ソフトウェア販売	19,737	21,002	+1,265	(+6.4%)
その他	752	675	▲76	(▲10.2%)

© 2026 TIS Inc.

(説明省略)

## 2026年3月期下期 業績ハイライト・主要セグメント別損益(予想)

2025年10月31日発表の  
計画値より変更なし



(百万円)	2025年3月期 下期	2026年3月期 下期	前年同期比	
売上高	296,128	299,474	+3,345	(+1.1%)
営業利益	38,538	39,446	+907	(+2.4%)
営業利益率	13.0%	13.2%	+0.2P	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	29,171	26,273	▲2,898	(▲9.9%)
四半期純利益率	9.9%	8.8%	▲1.1P	-
<b>主要セグメント別</b>				
オフライン サービス	売上高	75,109	77,429	+2,319 (+3.1%)
	営業利益	5,468	5,582	+113 (+2.1%)
	営業利益率	7.3%	7.2%	▲0.1P
BPM	売上高	21,798	22,274	+476 (+2.2%)
	営業利益	3,009	3,233	+224 (+7.4%)
	営業利益率	13.8%	14.5%	+0.7P
金融IT	売上高	50,210	50,921	+710 (+1.4%)
	営業利益	6,231	6,387	+156 (+2.5%)
	営業利益率	12.4%	12.5%	+0.1P
産業IT	売上高	66,824	67,347	+522 (+0.8%)
	営業利益	10,308	11,275	+967 (+9.4%)
	営業利益率	15.4%	16.7%	+1.3P
広域IT ソリューション	売上高	93,476	92,574	▲902 (▲1.0%)
	営業利益	13,275	12,954	▲320 (▲2.4%)
	営業利益率	14.2%	14.0%	▲0.2P

© 2026 TIS Inc.

下期計画=通期計画-上期実績

21

(説明省略)

発表日付	タイトル
2025年10月1日	TIS、AWSとVMware環境のクラウド移行を推進する戦略的協業契約を締結
2025年10月1日	TISおよび連結子会社の人事異動のお知らせ
2025年10月2日	TISと公立ほこたて未来大学、チーム開発を通じた「地方持ち込み型」職業体験イベントを初開催
2025年10月6日	TIS、インパクト投資2号案件としてMs.Engineerに出資
2025年10月9日	ネクスウェイ、大手生活雑貨チェーンのハンズにチェーンストア向けコミュニケーションツール「店舗matic」を導入
2025年10月17日	ネクスウェイの「CPaaS NOW」、イー・ソリューションズの投信窓販・直販会社向けフロントシステム「A's MILION®」の多要素認証に採用
2025年10月22日	TISとQuantum Mesh、液浸冷却技術を活用し、AI基盤事業での協業を開始
2025年10月23日	TIS、グループ全体の統一したITガバナンス強化を支援する「ITガバナンス計画・実行支援サービス」を提供開始
2025年10月24日	インテック、岩手医科大学と共同で医療文書の見落とし防止に向けたAIの有効性を実証
2025年10月27日	TIS、「Kong Gateway」でAPIのログ収集と利用傾向分析を可能にする「API分析・活用アドバイザーサービス」を提供開始
2025年10月28日	TISとAva Labs、「マルチトークンプラットフォーム」を提供開始
2025年10月31日	TIS、システム開発への生成AI活用を前提とした「AI中心開発」を掲げ、全社推進プロジェクトを発足
2025年11月4日	地域通貨「ジモッペイ」、現地決済型のポイント制ふるさと納税がスタート
2025年11月10日	TISとTorus、「カードイシュー・アクワイアラ向け収益改善支援サービス」を提供開始
2025年11月11日	TIS、「Kong Japan Partner Award 2025」において「Partner of the Year」を受賞
2025年11月13日	TIS、JFEスチール東日本製鉄所(京浜地区)における大規模基幹システムのオープン化を支援
2025年11月14日	インテックと伊那市、AIカメラで計測したデータを分析し、伊那北駅周辺整備計画の基礎データとしての有効性を確認
2025年11月14日	TIS、JPYCと日本円建ステーブルコイン決済の社会実装に向けた基本合意書を締結
2025年11月17日	フィンバレーと長野県白馬村および小谷村が、広域連携デジタル地域通貨「アルプスPay」を提供開始
2025年11月18日	TISとGATHER、スポーツビジネスにおける新規協業を開始
2025年11月19日	TISとアグレックス、効率的なコンタクトセンター運営を支援する「AIコンタクトセンターサービス」を提供開始
2025年11月21日	TIS、「Databricks」と「Braze」を活用したデータドリブンマーケティング基盤の構築支援サービスを提供開始
2025年11月21日	インテック、山梨中央銀行の新店舗「withKOFU」でホログラフィック通信プラットフォーム「PROTO」を活用したAIアバター実証実験を開始
2025年11月25日	Yenyが東芝プレイブルーバス東京の二連覇を記念したオリジナルデザインのVisaプリペイドカードを発行

(説明省略)

## 2026年3月期第3四半期 プレスリリース/お知らせ②



発表日付	タイトル
2025年11月26日	フィンバレーとむさし府中商工会議所、府中市のデジタル地域通貨「ふちゅPay」を提供開始
2025年12月1日	連結子会社の人事異動のお知らせ
2025年12月3日	クオリカ、コマテックの全3工場43台の設備に工場の生産性改善システム「KOM-MICS」を導入
2025年12月11日	TIS、「令和の“キャッシュレスVS現金”調査」を実施！全30のうち22シーンで「どちらも使える場合キャッシュレス派」が上回りご祝儀、香典など“冠婚葬祭シーン”でも3割以上がキャッシュレス派
2025年12月18日	TIS、トヨタグループが運営するTHE MOVEUM YOKOHAMA by TOYOTA GROUPのインフラ・ネットワーク構築を支援
2025年12月22日	TIS、AWS認定資格保有数3,000を突破し、「AWS Certification Distinction」の認定を取得
2025年12月23日	ネクスウェイの国産CPaaS「CPaaS NOW」、ストラテジックのSaaS連携ソリューション「JOINT iPaaS」のSMS・メール送信コネクタに採用
2025年12月26日	TIS、CDP 2025「気候変動」分野において2年連続で最高評価「Aリスト」企業に選定
2025年12月29日	TIS、活魚・鮮魚・水産加工品の受発注から精算管理までを一元化するBtoB型流通プラットフォーム「トスマ」を提供開始

(説明省略)

ITで、社会の願い叶えよう。



(説明省略)